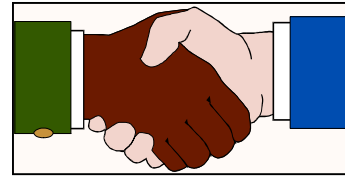


レ ス ス ン プ ラ ン

担当教師のみで実施

6 学年 第 5 回 (コミュニケーション・前半)

テーマ : 「国際理解って、何だろう？」



授業の目標:

- (1) “国際理解”という言葉が意味することについて、深く考えてみる
- (2) 他の国から来た人と良い人間関係を築くには、どんな態度や技能(skill)が必要か考えてみる
- (3) ”国際理解”についての口頭発表の準備をする

用意するもの :

ALT

担当教師

- 過年度の子どもたちが描いた「国際理解」の絵 (参考用) (ALT との TT の場合)

- 世界地図
- 絵が描ける準備 (各児童分の画用紙 (B5 サイズ程度)、クレヨン、マーカー等)

時間	活 動	気づいた点
5分	挨拶の後、 担当教師(とALT) は本時のテーマを告げ、次回『国際理解』についての考えを個人発表するので、本時はその準備をすることを伝える。	
10分	子どもたちはグループになって”国際理解”について話し合う。特に、これまで色々、ALTと一緒に勉強してきたことを振り返りながら、「他国の人たちと理解し合い、お互いに良い人間関係を築くためには、どんな態度や技能(skill)や条件が必要となるか」などについても話し合い、テーマを深める。子どもたちは出てきた自分たちの考えを(グループ代表等により)黒板に書き、全体に伝える。 担当教師(とALT) は子どもたちの考えに助言したり、考えを広げたり、コメントを加えたりする。	
28分	子どもたちは1人ひとり「 <u>国際理解ポスター</u> 」を描く。また、”国際理解”について <u>短いスピーチ(絵の意味するものを説明する内容)</u> ができるように準備を始める。 担当教師(とALT) は子どもたちの準備を補助する。	
2分	担当教師(とALT) は、子どもたちの準備を褒め、次回の個人発表までに、全員が①ポスターと②スピーチと用意しておくように指示する。また、良い発表には賞が与えられることを告げておく。	

※ALT との TT の場合、ALT は適宜、子どもの活動の補助をする。